

# 委員会構成・定例会の概要

## 議会運営委員会（6人）

委員長 前川 文博

副委員長 籠山 恵美子

委員 野村 勝憲

住田 清美  
井端 浩二  
水上 雅廣

## 広報広聴特別委員会（7人）

委員長 澤 史朗

副委員長 井端 浩二

委員 徳島 純次

上ヶ吹 豊孝  
谷口 敬信  
水上 雅廣  
小笠原 美保子

## 議会改革特別委員会（7人）

委員長 野村 勝憲

副委員長 籠山 恵美子

委員 前川 文博

住田 清美  
井端 浩二

上ヶ吹 豊孝  
谷口 敬信

## 政治倫理審査会（8人）

会長 籠山 恵美子

職務代理者 高原 邦子

委員 前川 文博

徳島 純次  
澤 史朗  
上ヶ吹 豊孝  
谷口 敬信  
小笠原 美保子

## 古川国府給食センター 利用組合議会議員（4人）

住田 清美

澤 史朗  
井端 浩二  
小笠原 美保子

## 議会選出監査委員

議会選出監査委員に、徳島純次議員が選任されました。



徳島 純次 監査委員

令和2年第1回定例会（会期 3月9日～27日）

# 3月定例会

## 議員改選後、初議会を19日間の会期で開催

本定例会において、人事案件の同意4件、条例33件、予算20件などが上程され、すべて原案どおり、承認・可決しました。  
また、一般質問を2日間の日程で12人の議員が行いました。

## 主な提出議案の概要

### ◆ 予算関係 20件

### 令和元年度補正予算 6件

雪不足の影響を受けた地域経済支援対策や各種事業の額の確定などによる補正

● 令和元年度一般会計補正予算（第6号）

新型コロナウイルス対策関連の補正

令和2年度（当初） 予算14件

一般会計 歳入歳出総額 177億円

特別会計（11会計）総額 85億5800万円

企業会計（2会計）総額 26億1262万円

◆ 条例関係 33件

条例の制定 7件

● 飛騨市障がいのある人もない人も安心して共に暮らせるまちづくり条例

● 飛騨市障がいのある人もない人も安心して共に暮らせるまちづくり条例

● 飛騨市医療・福祉専門職員就業準備貸付金貸与条例

● 飛騨市林業・木工技術者等修学資金貸与条例

● 飛騨市林業・木工技術者育成確保推進基金条例

● 飛騨市家畜診療所設置条例

● 飛騨市林業・木工技術者育成確保推進基金条例

● 飛騨市家畜診療所設置条例

● 飛騨市林業・木工技術者育成確保推進基金条例

● 飛騨市家畜診療所設置条例

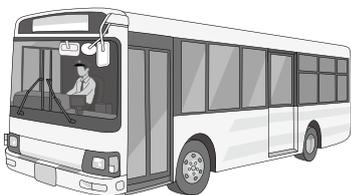
● 飛騨市林業・木工技術者育成確保推進基金条例

● 飛騨市家畜診療所設置条例

● 飛騨市林業・木工技術者育成確保推進基金条例

● 飛騨市産業動物獣医療体制確保対策基金条例

● 飛騨市地域公共交通事業に関する条例



- 飛騨市使用料徴収条例  
神岡町上村コミュニティ施設の利用料見直し等を行う。
- 飛騨市スポーツ施設条例  
宮川町杉原広場や神岡町坂巻公園テニス場等を廃止する。
- 飛騨市手数料徴収条例  
飛騨市家畜診療所設置に伴い、家畜人工授精手数料や授精卵採卵手数料などを削除。圧縮水素自動車燃料装置用容器の検査手数料を定める。
- 飛騨市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例  
団員定数を850人とすることや費用弁償の単価を引き上げ個人支給とする。
- 飛騨市観光施設条例  
古川総合交流ターミナル施設や流葉自然休養園コテージなどの使用料金を改正する。
- 飛騨市奥中山間地域総合整備事業分担金徴収条例

**6月定例会 開催日予定**

6月16日(火)	一般質問 (1日目)
17日(水)	一般質問 (2日目)
18日(木)	一般質問 (3日目)
19日(金)	常任委員会
22日(月)	予算特別委員会
24日(水)	閉会日

※ 一般質問は質問者の人数により2日間となる場合があります。  
※ 日程は議会運営委員会にて協議、調整し変更となる場合があります。



老人保健施設たかはら

- 新たな県営事業の追加に伴い条例の一部を改正する。
- 飛騨市農林業用施設災害復旧工事分担金徴収条例  
分担金徴収率を改正する。
- 飛騨市都市公園条例  
坂巻公園テニス場(神岡町)を廃止する。
- 飛騨市国民健康保険病院事業の設置等に関する条例  
老人保健施設たかはらの機能転換等に伴い入所定員等の変更を行う。

- ◆ 人事案件 4件
- 監査委員 (識見を有する者)  
島田 哲吉
- 監査委員 (議会選出)  
徳島 純次
- 公平委員会委員  
太田 文雄
- 教育委員会委員  
牛丸 洋子
- ◆ その他
- 一般会計補正(専決)
- 飛騨市過疎地域自立促進計画の変更  
事業計画を追加し「広葉樹のまちづくり」の推進を図る。
- 市道路線の廃止  
市道路線の認定  
寺地3号線、畦畑26号線、杉崎49号線、袈裟丸14号線の廃止・認定を行い、起点や終点の変更を行う。

**問** 飛騨市消防本部と消防団について  
消防職員は現状維持、消防団員については環境改善に努める

**答** (トイレ等の改修)について  
④ 消防職員の増員について  
◆ 中畑消防長  
① 消防職員数は76名。  
消防団員数は844名である。  
② 年報酬額は各自治体の条例により決まっているため金額が異なり、合併時の四町村の一番高い

**問** 公共残土処理場の開設について  
飛騨市内の残土処理場は、現在受け入れを停止している

**答** ① 飛騨市内に公共及び民間の残土処理場はあるのか。あれば処理費用を知りたい。  
② 公共残土処理場は、宮川町種蔵地内で123,000㎡、神岡町小萱地内で87,000㎡である。民間は古川町数河地内で40,000㎡、宮川町種蔵地内で45,000㎡であり、地目は、山林や畑。

2万7千円とし、高山市、下呂市、郡上市、白川村のほぼ平均と考えている。退職報奨金は5年以上1年ごとに算定した金額を条例で定め、退職者に支払っている。

③ 現在トイレだけの改修計画は考えていないが、器具庫の更新計画を築50年で計画しているため、その中で考えたい。

④ 消防職員数は、現状維持。消防団員は、女性団員を含めて団員確保に努める。

昨年の豪雨災害の大量の残土処理を受け入れたため、3箇所は現在受け入れを停止している。

③ 新たな残土処分場について、市と民間事業者が、それぞれ候補地について検討中。早期に開設できるよう、建設業協会などとも連携して進める。